

『令和4年度再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業』に採択

2022年6月10日

日本エネルギー総合システム株式会社

日本エネルギー総合システム株式会社（本社：香川県高松市、代表取締役：黒淵誠二、以下「JPN」）は、このたび、経済産業省が実施する「令和4年度再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業」にコンソーシアムリーダーとして採択されました。

1. 本実証事業について

本事業は、分散型エネルギーリソース（DER）を活用した安定的かつ効率的な電力システムの構築と、再生可能エネルギー（再エネ）の普及拡大を図ることを目的に、変動性の高い太陽光発電、風力発電等の再エネ発電設備と蓄電池等の分散型エネルギーリソースを組み合わせ、需給バランス確保のための発電量予測や、リソース制御に必要な技術等の実証を行うものです。

2. 実証内容

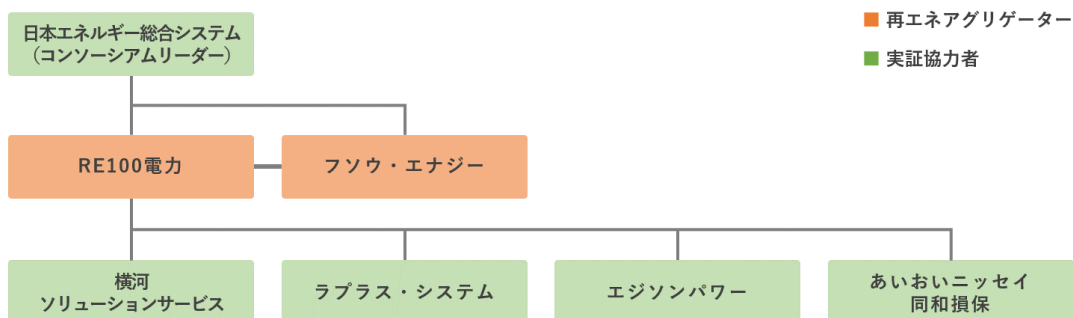
本事業では、本番環境において高圧・低圧の太陽光発電所を使用し、現地のリアルタイムの気象データを使った予測精度の向上やインバランス回避に必要な蓄電池の最小容量、市場のタイムシフト取引による採算性向上、需給逼迫時の供給サイド対応、インバランス保険の開発等に向けた実証を行う予定です。

3. 実証協力者

本コンソーシアムには、JPNのほかに、再エネアグリゲーターとして、RE100電力株式会社（本社：香川県高松市、CEO：黒淵誠二）と株式会社フソウ・エナジー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：片岡智博）の2社、実証協力会社として横河ソリューションサービス株式会社（本社：東京都武蔵野市、代表取締役社長：八橋弘昌）、株式会社エジソンパワー（本社：東京都中央区、CEO：山田敏雅）、株式会社ラプラス・システム（本社：京都府京都市、代表取締役社長：堀井雅行）、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：新納啓介）の4社の計6社が参加。来年2月の報告に向け、再生可能エネルギーのアグリゲーション技術向上に向けた実証事業をスタートいたします。

Ⅰ コンソーシアム実施体制図

注) このほか、株式会社ウェザーニューズ(気象データ提供・発電量予測提供)、が実証事業に協力。



4. 今後の展開

JPN はこれまで四国を中心に全国で再生可能エネルギー電源を開発している他、特に太陽光発電所については開発から運営までを一貫して手掛けてきました。今回の実証事業では、蓄電池を使ったアグリゲーション技術を確認し、新たな電源開発による再生可能エネルギーの供給を通じ、高騰する電力料金や電力不足対策、更には 2050 年のカーボンニュートラル実現に貢献してまいります。

<ご参考>

一般社団法人環境共創イニシアチブ

令和 4 年度再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業 | 採択結果

https://sii.or.jp/saieneaggregation04/uploads/R4SAIENE_saitakukekka.pdf

令和 4 年度再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業 | 交付決定

https://sii.or.jp/saieneaggregation04/uploads/R4SAIENE_koufukettei.pdf

以上

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

日本エネルギー総合システム株式会社

: 電話 [087\(813\)5908](tel:0878135908)